

運動会の練習でお忙しい中、ミニ研修会お疲れ様でした。そして何より、この忙しい中運動会を主に進めながらもデザインシートの準備を中島先生ありがとうございました。簡単ではありますが、ミニ研修会について、整理していきたいと思います。

最初に授業に対する中島先生のいまの考えを話していただきました。「得点が相手のミスによって入るのではなく、自ら点を入れることを味あわせたい。」「他の領域に比べて、ボール運動領域は複雑であるが、それを複雑なまま扱いたい。」「5分間運動を含めた授業の流れについて、ほぐしからゲームを入れていこうと考えている。」と三点について、詳しく話していただきました。

また、5分間運動についての話もありました。みなさん5分間運動についてどのような定義で捉えられていますか？5分間運動は授業の最初に取り入れるものという感覚を持たれている先生が多いのではないのでしょうか。わたしもどちらかと言えばそうでした。しかし、どうして5分間運動をするのか、なぜ必要なか意識することが少し薄れていたかのしれないなど自分で反省しています。どうしても、することが当たり前ようになっていくと、その事柄自体の必要性などを見落としがちになってしまいますよね。(そんなのお前だけだろなんてツッコミはしないでくださいね。)今回の話では、5分間運動について、「準備運動として」「主運動に繋がる運動として」「心と身体を立ち上げる運動として」「困り感に対する運動として」というキーワードが出てきました。もう一度、中島先生の授業の中だけでなく、自分たちの体育の授業の中でも5分間運動を見直すきっかけになったのではないのでしょうか。

次にそれぞれのグループの発表を簡単ではありますが、整理していきたいと思います。「1分30秒間でプレゼンをしてください」という無理難題にも文句を言わず上手にまとめ、発表していただき3人の先生方ありがとうございました。

- 子どもの実態に合わせて、場や状況をつくっていこうという見通しが立っている。
 - 自分に与えられたポジションでの学びを深めていくことと、全てのポジションを経験することで得られる学び、両方大切ではないか。
 - 場や人数を変える意図は、デザインシートに記載されている方がわかりやすいのではないか。
- A**

- 各時の視点は？
 - 状況や場は、ジャンプ課題？それとも飽和してきたときに入れる手立て？
 - 「先に3点入れることができるかな」という課題は子どもにはぴったり！
 - 教師の視点は？子どもはずっと同じ課題でも、教師の見る視点は違うのではないか？各時、子どもたちに何をさせたくて(考えさせたくて)、どのような場にするのか。
- B**

- 「人数を多くするという事は、1人当たりの守備範囲が狭くなる」＝「床をうばいにくくなる」
 - 「コートを広くするという事は、1人当たりの守備範囲が広がる」＝「床をうばいやすくなる」
 - 守備、攻撃のどちらかに視点を絞ったほうがいいのではないか…
 - 飽和の状況ってどんな状況？ラリーが終わらない状況？「落とす-落とさせない」が成立しない状況？
- C**

それぞれのグループで共通して出た話題や、まだまだこれから整理していかなければいけない部分も見えてきたと思います。みんなで頑張っていきましょう！

(文責 甫本)